

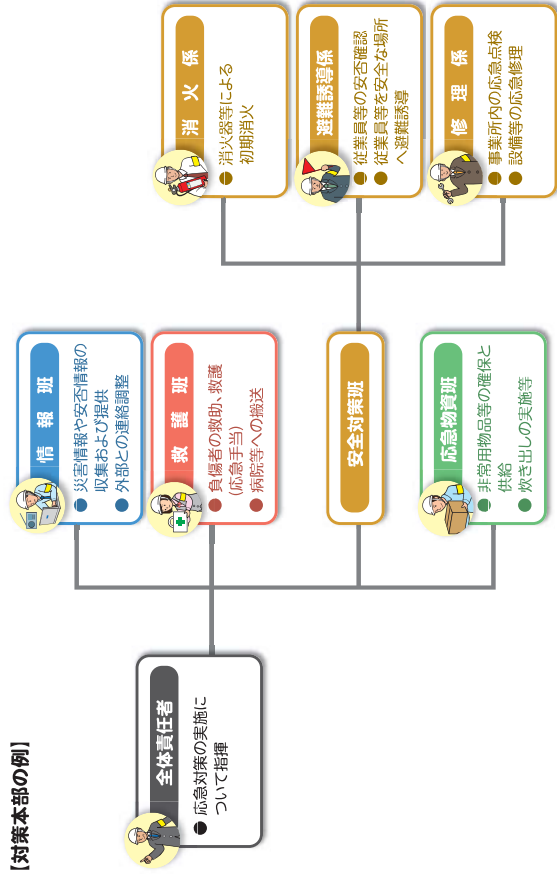
3. 防災体制の整備

災害発生時には、従業員等の安全を確保するとともに、事業の継続または早期再開を図るため、事業所が一丸となって組織的な対応を行う必要があります。

役割分担

応急対策を迅速に行うためには、事業所規模に応じた災害時の役割分担を明確にし、責任者を決めておく必要があります。また、災害が業務時間内に発生した場合や夜間・休日の場合など、状況に合わせた防災体制がとれるように検討しておくことも大切です。

【対策本部の例】



災害時の行動マニュアル

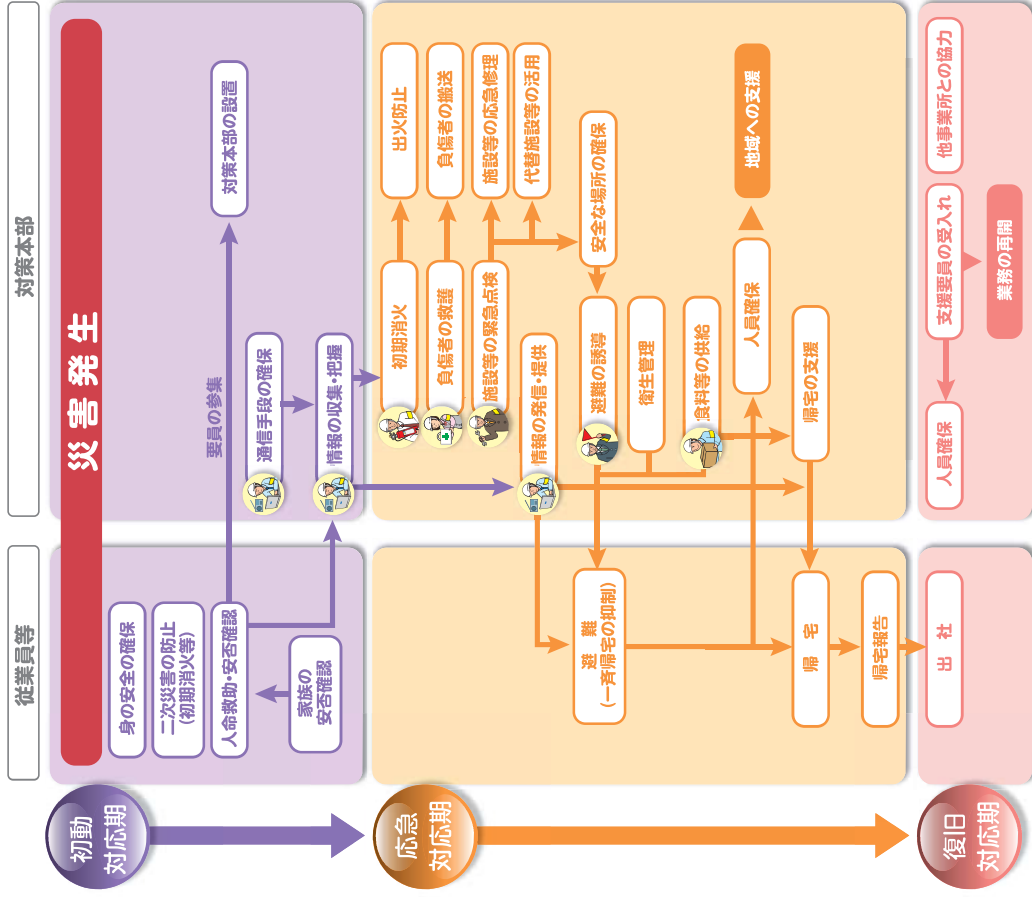
発生時間や場所ごとの行動、避難基準などを明確にする必要があります。また、応急対策を適切に行うためには、事前に災害時の役割分担に応じた行動を整理し、「いつ誰が何をするのか」といった具体的な対応手順も決めておく必要があります。それらを「災害時の行動マニュアル」として整備し、訓練や研修などを通じて、従業員等へ周知・徹底することも大切です。



対策チェック

- 対策本部を立ち上げる設置基準や設置場所は決まっていますか
- 責任者不在時の代行者は決まっていますか
- 季節・天候・勤務時間内外など、状況に応じた対応が書かれていますか
- 「誰が何をするのか」という役割分担が明確になっていますか
- 女性の視点を取り入れていますか
- 災害対策に必要な帳票類は整理していますか

発災～復旧の流れ



それぞれの事業所の規模や従業員数などに応じて防災体制を整備しましょう。また、複数の事業者が所在するテナントビルなどでは、責任が不明確なため、応急対策が遅れることも予想されます。ビルオーナーを含めテナントビルにおいて、事前に役割分担や対応手順を相談すると良いでしょう。

